

清津川下流地区における水理模型実験見学会 および意見交換会を行いました！

清津川下流地区(新潟県十日町市旧清津峡小学校付近)の今後の川づくりに関する意見交換会・水理模型実験見学会を、6月20日(水)に茨城県つくば市(日本工営(株)の実験施設)にて開催いたしました。付近は、平成25年の台風で氾濫ぎりぎりまで水位が上がるなど、災害発生の恐れがある地区です。地区にお住まいの方々とは、これまでに3回の意見交換会を実施してきました。

そして今回は清津川下流地区で、今後洪水が発生した場合、砂防堰堤がない場合にはどのような被害が出るのか、また、砂防堰堤があるとどのような効果があるのか、実際のサイズから70分の1に縮小した大型の模型を用いて見学し、その後意見交換会を実施しました。

川づくりに関する これまでの経緯

| 実施日 | 内容 |
|-------------------|--|
| 第1回 H27年2月17日 | <ul style="list-style-type: none"> ● 清津川の状況(河岸の侵食、河床上昇など) ● 清津峡地区の「お宝」、地域振興面など |
| 第2回 H28年3月23日 | <ul style="list-style-type: none"> ● 川のように詳しい情報 ● どんな川にしていきたいか？ |
| 第3回 H28年10月27日 | <ul style="list-style-type: none"> ● 清津峡地区の今後の川づくりのあり方 |
| H28年12月20日 | ● 3回のワークショップのまとめの報告会 |

水理模型実験見学会と意見交換会の様子



水理模型実験の見学



地域の皆さんと意見を交換

地区の方々からは、「砂防堰堤の固定概念が変わった。土砂をとめるだけのものだと思っていたが、洪水後に土砂を通常通りに流し河床の安定をはかることもできるということがわかった。」等のご感想をいただきました。

砂防堰堤の重要性をより知っていただけました。これからも、安全・安心を確保のため、地区にお住まいの方々の意見をお聞きしながら、よりよい川づくりのために尽力して参りたいです。